



Commemorative Ceremony of Honiara Environmental Learning City Declaration

Sponsorship : Honiara City Council , Cooperation : Honiara Partnership Committee / JICA / LEAF

本プロジェクトの様々な取り組みの中で最も重要な取り組みとして位置付けていたのが、ホニアラ市が環境学習都市若しくは持続可能なまちづくりに向けた都市宣言を行うことでした。

ホニアラ市では、廃棄物処理や街の美化、保健衛生、下水処理、交通問題などの様々な課題を有しており、行政だけが対応するのではなく市民・事業者との連携や協働による取り組みが大きな課題でした。ホニアラ市の市民・事業者・行政など各主体がまちの将来に向けて共通の目標を持ち、相互に学び合い、支え合う中で継続的な活動を行っていくことを共に決意する機会として今回の都市宣言がありました。各種政府機関、大学、コミュニティリーダー、教育関係者、JICAソロモン支所などホニアラ市を支える重要な人材が一堂に会した式典となりました。西宮市からは石井登志郎市長のビデオメッセージが届けられ、会場で紹介されました。

開催日: 2019年10月31日 9:00~12:30

場 所: ソロモンキタノメンダナホテル

参加者: 83名

主 催: ホニアラ市

共 催: ホニアラ市パートナーシップ委員会(※P.4 参照)、
JICA、LEAF



式典会場全体の様子

プログラム

- お祈り
クリストファー・カードン大司教(ホニアラカトリック教会司教管区)
- 開催あいさつ
レンス・ソレ(ホニアラ市役所事務次官)
- 祝辞
上垣素行(JICAソロモン諸島支所支所長)
ジュダー・スマエ(ホニアラ市パートナーシップ委員議長)
- 青年層発表
アザリン・ナグ(フローレンスヤングクリスチャン中学3年生)
ジュエル・ロディー(キングジョージ第6高校1年生)
ベン・ジャットバツ(パティカマアドバティスト高校6年生)
ブラッドフォード・フォカアフ
(環太平洋大学ホニアラキャンパス初等サイエンス学部)
- 西宮市からのビデオメッセージ
石井登志郎(西宮市長)
- 環境省次官
カルウィック・トガマナ(環境省次官)
- 市長による都市宣言
ウィルソン・ママエ(ホニアラ市長)
- お祈り
クリストファー・カードン大司教(ホニアラカトリック教会司教管区)



ホニアラ市役所事務次官



環境省次官



大司教



ホニアラ市パートナーシップ委員会議長



ホニアラ市長

私たちの祖先は、かつて自然豊かな山々や美しい川、ビーチに囲まれ、天然資源を富として感謝し、暮らしを楽しみ、祝福してきました。

しかし、今、私たちの街は急激な都市化と人工的環境の構築などにより、廃棄物問題や街の美化などの都市課題を生み出し危機的な状態にあり、手遅れになる前に環境を守らなければなりません。先人から引き継いだホニアラ市の素晴らしい財産を次世代に残すためには、様々なセクター、市民、ビジネスハウス、ホニアラ市議会、政府、教会、コミュニティ組織、NGOと協議し、様々な環境・社会問題へのプロジェクトや活動を適切に計画する必要があります。

市民の自発的なコミュニティ活動やそれぞれのセクターがサポートできる分野で技術的な専門知識を示すことを通じて再び、自然環境に配慮した活気あるホニアラの街を作り上げなければなりません。私たちの考え方と行動は、私たちの街や社会にポジティブな変化を起こすことができます。

ホニアラ市に住み、学び、働くすべての人が環境学習活動を通じて、持続可能なコミュニティの構築に向けた継続的なコミットメントを発信し、自然を敬う精神や自然に感謝する気持ちを大切に育てていくことは、国連で採択された持続可能な開発目標の実現にもつながります。

今後、ホニアラ市民は様々なセクターによるパートナーシップを基本に、環境学習活動に積極的に参加し、将来世代が誇りに思える環境を重視する持続可能な都市づくりを目指します。

私たちはこうした思いを抱き、私の都市、あなたの都市、私たちの都市であるホニアラ市を環境学習都市として発展させていくことをここに宣言するとともに、その実現に向けて以下の行動憲章を制定します。

1. 自然を鑑賞し、歴史・文化・産業・環境とのつながりを学び、認識し、環境に配慮した生活を実践できるアクティブな市民を目指します。
2. 市民、企業、ホニアラ市議会、国、教会、地域団体、NGOとの連携により、地域に根ざした環境活動を推進します。
3. 生活様式と社会全体を見直し、資源・エネルギーを重視した(循環型)都市を確立します。
4. 健康で文明的な暮らしを通じて、人々が自然と調和し、正義と平和を尊重する社会を実現します。
5. 世界中の人々と環境学習を通じて協力ネットワークを構築し、地域の環境を通じて、誰もが共有する豊かな地球環境を次世代に伝えてまいります。

※宣言文はパネル印刷し、学校や市庁舎などに設置します。

参加者の感想

式典参加者からは多くの感想が寄せられ、ホニアラ市のみならずソロモン諸島にとって貴重で有意義な催しとなったとの意見や中学生・高校生・大学生からのアクションプランに関するスピーチに感銘を受けたとの感想もありました。今回の環境学習都市宣言を契機に地域や学校、事業所など様々な場における継続した取り組みを求める声も多くありました。

以下、参加者の感想を紹介します。

- とても感動的で、歴史に残るプログラムだった。ホニアラを清潔で環境に優しい街にするため、ソロモン諸島に暮らす人々は心を通わせるべきだ。目的の達成に向けて、ソロモン諸島の住民は力を合わせて努力すべきだ。
- スピーチや演説を聴いて、私たちの自然を守るためにすべきことがはっきり分かった。地域の小学生や中学生といった子供たちが率先して行動することは、とても大切な。皆が力を合わせれば、ホニアラを清潔に保つことができる。学校は人々の意見に耳を傾け、それを実践していく。
- 感動的で、人々を奮い立たせるような宣言だった。ホニアラの住民と、ソロモン諸島に住むすべての人々は心ひとつにして、自分たちの街を清潔に保つよう努力すべきだ。
- 宣言は私たちの国の歴史における新たな1ページとなった。
-学校での問題提起を続けてほしい
-人々の問題意識を高める取り組み
-住民の目に触れるよう、宣言の内容を示すものを街の中心部に設置してほしい
- この宣言を境に、ホニアラの人々は問題の深刻さをはっきりと自覚すべきだ。この街をより良い場所にするために、私たちは気持ちをひとつにするべきだ。
- 教育によって、人々の意識を高めるべきだ。小学校から高校までのカリキュラムに、それを組み込むべきだ。

日本国兵庫県西宮市よりご挨拶申し上げます。

この度は、ホニアラ市において環境学習都市宣言記念式典の開催、心よりお喜び申し上げます。

本市におきましても、2003年に環境学習都市宣言を行い、市民、事業者、行政の参画と協働の元、持続可能な社会の実現に向け様々な施策に取り組んでまいりました。

貴市におかれましても、「ホニアラ市パートナーシップ委員会」を軸に、持続可能なまちづくりを推進し、次代を担う子供たちへの環境学習活動を体系的・継続的に実施するための体制づくりを進めてこられたことに心から敬意を表します。

9月には本市へご訪問いただき、大変有意義なひとときを過ごすことができました。今後も環境学習都市宣言を行っている両市がそれぞれ広域的な役割を認識しあい、持続可能な社会の実現に向けた活動を共に推進していきたいと思っております。

本市では、米国バーモント州バーリントン市と「環境学習を通じた持続可能なまちづくり」をキーコンセプトに都市間交流を行っており、ホニアラ市とも同様の取り組みを進めていくことができると考えています。

最後になりましたが、今日ご参集、ご参加いただきました皆様方の今後のご活躍を心からお祈りをさせていただきます。

本日は、まことにありがとうございました。

小川専務理事からホニアラ市長へ
西宮市長のメッセージを手渡す



JICAソロモン諸島支所長からの祝辞

「子どものための学習と環境活動(LEAF)プロジェクト」による官民協力による環境学習活動の推進を通じて、持続可能な地域開発のためのホニアラ環境学習都市宣言のこの記念式典に出席できることを光栄に思います。

この宣言は、環境問題に持続可能な方法で取り組むために、ソロモン諸島の首都ホニアラ市による意向表明ですが、その影響はソロモンの全国全体に及びます。また、太平洋地域での最初のイニシアチブであり、この地域の将来において非常に重要になると思います。

このプロジェクトを通じて、環境学習都市のモデルでもある日本の西宮市での宣言と環境開発に関する経験と知識を生かしながら、ソロモンの環境問題に取り組んでいただきたいと思います。

この宣言に関連するイベントとして、私は先週開催されたJICAと日本大使館のボランティアと一緒に市の清掃活動にも参加しました。とても暑い場所での活動でしたが、ホニアラの町が本当にきれいになっているので気分が良くなりました。ホニアラ市内の多くの人々がこの活動に参加することで、ゴミが今後ますます減少することを期待しています。日本では、清掃活動は社会への貢献だけでなく、その地域に住み行動する人々への使命として認識されており、個人の精神的な実践としても認識されています。

現在、LEAFが現在ホニアラ市とJICAの草の根プロジェクトとして取り組んでいる持続可能な地域開発のための官民協働による環境学習推進プロジェクトでは、市民、企業、政府によって設立されたホニアラ官民協働会議に焦点を当てています。

私たちは、国内の次世代をリードする子どもたちのための環境教育と学習活動を継続的に実施するためのシステムの確立を通じて、ホニアラ市の持続可能な地域開発を促進しています。この宣言を通じて、ホニアラ市がより環境に優しい都市になり、若い世代がこの宣言から恩恵を受け、環境を学ぶより前向きな機会を持つことを願っています。

最後に、LEAFと共に環境問題に取り組むホニアラ市役所の継続的な貢献に感謝します。

この宣言は、有効性と持続可能性を倍増すると信じています。

JICAソロモン諸島支所
上垣素行所長

